

AI のまとめ

概要（登場人物）

赤田のり子（町議）：教育長再任に不同意の理由を動画で発信。「不登校対策は十分に共有されていない／具体策が話し合われていないように見えた」と問題提起。根拠は「令和6年の教育委員会会議録」や一般に入手しやすい情報と説明。動画削除の意向はなし。

茂木伸一（前教育長）：反論。R5年度からスクールワイドPBS導入、R6年12月にTOCO-TON推進校の県指定を受けた等の実績、不登校対策（相談室設置、公認心理師2名体制、フリースクールや居場所との連携）を列挙。R1比でR6には不登校率が約半減と主張。赤田氏に事前のファクトチェック（教育委員会への確認）の有無を重ねて問い、動画削除を要請。

森泉謙夫（町議）：動画は前教育長の人格や現場への信頼を損なう表現になり得ると懸念。訂正・謝罪を提案。さらに、教育委員会は独立した執行機関であり、すべての施策を逐一議会へ報告する法的義務はないとの見解を提示。必要なら議会で質疑すべきと指摘。

Satoko Nakamura（町民／フリースクール関係者）：TOCO-TON 導入の記事を以前から認識。前教育長不信任に不安を表明。

主な争点

事実確認（ファクトチェック）の有無

茂木氏：教育委員会や学校に確認すれば誤解は避けられたと主張。

赤田氏：会議録や公開情報を基に必要十分な確認は実施したと返答（ただし委員会への直接照会は明言せず）。

情報共有の不足か、発信表現の過剰か

赤田氏：現場の取組が議員・町民に十分共有されていない点を問題視。

茂木氏・森泉氏：共有の限界（個人情報・機微性）を踏まえ、表現が「具体策なし」と受け取られる危険を指摘。

教育委員会の報告義務の範囲

森泉氏：法的には求められた場合に説明責任、逐一報告義務はなし。疑問があれば議会の場で質疑すべきと整理。

動画対応

茂木氏・森泉氏：訂正／削除／謝罪を要請。

赤田氏：削除せず、これ以上のやり取りは控えると表明。

やり取りで提示された主な事実主張（茂木氏より）

R5年度：町内3校でスクールワイドPBS導入。

R6年12月：TOCO-TON推進校に（東信地区で唯一の指定と主張）。

施策：学校内教育相談室設置、支援教員配置、公認心理師2名の体制、フリースクール／居場所との連携、教職員と家庭が連携して個別に寄り添う支援。

成果：R1当時と比べR6には不登校在籍率が半減、国・県平均を下回る水準と説明。

(※いずれも茂木氏の主張。赤田氏は「共有不足」を問題視し、事実否定の意図はないと述べる。)

現時点の整理

合意点：教育はセンシティブで、丁寧な対話・説明が必要。

相違点：①共有不足の評価、②動画の表現妥当性、③事前確認の範囲、④動画の扱い
(削除・訂正の要否)。

未解決：赤田氏が教育委員会への直接照会を行ったかの明確な是非／動画の訂正・謝罪対応。

実際のやり取りのコメント全文

赤田 のり子

御代田町議会 議員活動 4 年間の記録

【第 1 弾】

「教育を変えるとき」～御代田町議会・教育長再任に反対した理由～

【町議会での反対討論をショート動画にまとめました】

御代田町の教育、今こそ変わるべきだと私は考えています。

いじめや不登校を未然に防ぐ“予防的アプローチ”を進めるためには、変化への柔軟性とリーダーシップが必要です。

教育長の再任に反対した討論の要点を 60 秒でまとめました。ぜひご覧ください。

茂木伸一

前教育長です。正確な事実をお伝えします。スクールワイド PBS の考え方、実践は御代田町三校ではすでに令和 5 年度から導入され、実践されています。それに基づいて令和 6 年 12 月に県教育委員会から TOCO-TON 推進校に東信地区唯一の指定を受けました。現教育長におかれましてはさらに力強く推進してくださるものと期待申し上げます。

また、赤田議員が本報告第一弾にも事実でないことがあります。[不登校に関する具体策すら話し合われていないように私には見えた]とありますが、とんでもないことです。不登校児童生徒の減少は学力向上と共に最重要課題として対策が講じられていました。学校に教育相談室が開設され支援の先生も配置されました。学校外でもフリースクール面替っ子さんや町の縁側なからさんと連携して子供たちの居場所を確保して参りました。町の指導主事(現教育長)、二人体制にした公認心理師らに積極的に学校

に入ってもらい相談体制を強化しました。一番は学校の先生方、教育委員会職員らが対象児童生徒に寄り添い、ご家庭の協力をいただきながらの推進体制が整えられてきました。

結果として、令和元年当時不登校等児童生徒在籍率がかなり高かったものが令和6年には半減し国平均、県平均を下回るようになりました。このような事実が[具体策すら話し合われていないように見えた]と報告されては学校現場、関係者の努力、ご苦勞が報われません。

また、御代田町は不登校問題に何の具体策を持っていない町だと思われてしまいます。御代田町の名譽にも関わってきます。

赤田議員は当時の不登校対策について教育委員会や学校現場に確めて事実を把握してから SNS で発信されているのでしょうか。教育委員会からは問い合わせはなかったとのこと。同様の質問は議会にもお送りしてありますので回答のほどよろしく願いいたします。

赤田 のり子

茂木伸一 前教育長からのご意見、確かに受け取りました。

まず、私が配信で触れた内容は、令和6年教育委員会会議録をもとにしたものです。

私自身の活動報告として感じたことを述べたものであり、事実を曲げたり、御代田町

教育委員会の活動そのものを否定したりする意図は一切ありません。

私が問題提起したのは、施策や取り組みが存在していても、その経過や成果が議員や一般町民に十分に共有されていない現状です。現場が努力を重ねていても、その情報が広く伝わらなければ、町全体の力として生かすことは難しいのではないのでしょうか。

今回、前教育長の反論で様々な取り組みが示されましたが、こうした詳細な情報は当時ほとんど共有されていなかったことは、たいへん残念に思います。結果として、私を含め、議員や町民の多くがその努力や成果を十分に把握できていなかったことは事実です。

これからも私は、町民の皆さんに分かりやすく情報を届け、対話を通じてまちづくりを進めていく姿勢を変えるつもりはありません。今回いただいたご意見も、より良い町づくりのための材料として前向きに受け止めてまいります。

茂木伸一

コメント、ありがとうございます。

私の質問にお答えいただけていません。教育委員会に限らず町の業務の詳細を町民の皆さん、議員の皆さんにお知らせすることは不可能に近いです。だからこそ重要な発信をするときには事実の確認が必要です。SNSで発信をするときの最重要項目のファ

クトチェック、事実確認です。[不登校に関する具体策すら話し合われていないように見えた]という非常に重い内容です。教育委員会や学校に聞いて確認していただければすぐに分かることです。その確認をしましたか？という事実をお尋ねしています。難しい質問ではありません。

なされてないとすると事実に基づかない発信を SNS でしていて、実際に御代田町は不登校問題について具体策を持たない町だと思われてしまいます。事実でない発信である以上、第一弾の削除をお願いいたします。

赤田 のり子

茂木伸一 ご連絡ありがとうございます。

先日配信した第一弾の動画は、令和6年12月定例会の議事録をもとに、私の教育長再任に対する反対討論を約1分間程度にまとめたものです。内容は事実を曲げたものではなく、当時の教育施策の取り組みが一般には十分に伝わっていなかった点に着目したものです。

反対討論を行うにあたっては、令和6年教育委員会会議録の確認に加え、御代田町における子どもたちの相談窓口の有無や、近隣市町村の状況も調査し、一般町民が検索した際に得られる情報も把握しておりました。これらにより、反対討論に必要な事実確認は十分に行ったと認識しています。教育委員会が取り組んでいた全ての活動を網

羅的に調査することは、討論の趣旨上必ずしも必要ではなかったと考えております。

現在は、新教育長の教育方針や、御代田町教育委員会が進める具体的な施策や成果についても動画で発信しており、町民の皆様に教育の現状と方向性を分かりやすく伝えるよう努めております。これにより、地域の方々や議会の皆様に正しく理解いただける一助となれば幸いです。

なお、前教育長のこれまでのご尽力には深く敬意を表しております。

以上の理由により、動画を削除する考えはなく、本件についてのやり取りはこれ以上進めないものとさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます

森泉謙夫

まずは御代田町の教育行政に対する議論に敬意を評し、一町民として感謝申し上げます。本件については茂木前教育長からの至極当然なご質問だと思います。茂木前教育長のコメントには含まれておりませんが動画を見る限り、「いじめ、不登校、自殺」を防止するために前教育長の再任に不同意したとも捉えられかねない発言ではないかと感じています。そして長きに渡り教育現場に携わってこられた前教育長の人権・人格を否定する発言だとも捉えています。これら全てが40年以上教育の現場にいたと申されるプロの教育論者である赤田議員からの発言となると、教育現場全体への不信感に

加え、波及先となる様々な方面への影響、特に子供たちへの影響を考えた場合、その不安を払拭する必要性を強く感じます。赤田議員が一教育者として、また公人としての自覚をお持ちであるならば、この問題の本質を見極め受け入れた上で、一刻も早く適切な対応（訂正・謝罪動画など）を行うべきではないでしょうか。

次に、教育委員会から議員に対し、あたかも報告義務があるかのような記述がございますが、予算・決算の審査、条例の制定や改廃などについて、議会からの質問（一般質問、委員会審査）であれば、答弁・説明を行う義務がありますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」通称:地教行法（ちきょうこうほう）では、議会に対しては、他の行政機関と同様に「議会から求められた場合には説明責任を負う」といった位置づけとされています。教育委員会は独立した執行機関として設置されており、教育委員会が議会に「すべての施策の経過や成果を逐一報告する法的義務」はありません。しかし、議員が教育行政について質疑・質問を行えば、教育委員会（教育長）が答弁・説明する義務があるわけですから、教育委員会に対し、本件についての質問を全て行なった上での動画配信だったのかどうか問われることになります。茂木前教育長からの質問には、「教育委員会からは問い合わせはなかったとのこと。」とされており、赤田議員からはこれについての回答はなされていないことから、論点にズレが生じているように捉えられます。

私は、教育現場とは極めてセンシティブなものとして理解しておりますが、一方で詳細な

情報を得たい気持ちも理解できます。しかし、繊細な教育現場には、現場にお任せする必要性が高い課題もあると思います。前教育長にも報告を"したいが出来ない"や"すべきではない"とご判断されるタイミングや事柄があった場合、そのご判断が下せるかどうかこそ、国や県ではなく御代田町の小中学校を所管とし、教育現場に最も近い教育長の人格を評価するための材料とされるべきではないのでしょうか。

加えて現教育長は議会への報告義務を課されたようなものであり、それはセンシティブな課題に対する報告内容やタイミングを、教育長自身が図れなくなることにも繋がります、それによって子供たちを含む町民益を損なう原因になりはしないかが不安材料として残されます。そしてそれがなされなかった場合、教育長再任への同意を求められた際に、再び不同意とされるのでしょうか。議員に当選したら何でもしていい訳ではなく、申されるお言葉に信念があるならば、町長選への出馬を考えるべき人材ではないかと前向きな考えに及びます。

まずは茂木前教育長の質問に答える必要があるということに加え、町民への説明責任を果たされることを重ねて希望いたします。

赤田 のり子

森泉 謙夫 ご意見ありがとうございます。

本件についての私の考えは既に投稿でお示しましたので、これ以上のやりとりは控

えさせていただきますたく存じます。どうぞご理解ください。

森泉 謙夫

申し訳ありません、民意に基づいたコメントをさせていただいているため理解を示す訳にいきません。繰り返しになりますが、茂木前教育長からの質問への適切な回答と、赤田議員からの御代田町民に対する説明責任を果たされることを希望いたします。

Satoko Nakamura

一町民です。

御代田町の小中学校において TOCO-TON が導入される事は、前教育長の時に既に信毎に掲載されており、私は期待を寄せておりました。

その上で前教育長が不信任になったので、全く理解ができず、私は非常に不安でした。

茂木伸一

赤田議員様、コメントありがとうございました。

理解できないことが多々ありますが、1つはっきりしたことがあります。赤田議員は不登校対策について近隣町村の状況は調べたが、ご自分がお住まいの本家本元である

御代田町の対策は調べなかった。この事ははっきりしました。それなのに[不登校対策について具体策すら話し合われていないように私には見えた]と発信されているのですね。再三申し上げていますように、当時の教育委員会や学校に確認をしていただければすぐにわかることなのに。昨年12月議会のときにもその確認はありませんでした。それから8か月経っての動画アップですがこの間にも赤田議員は教育委員会に不登校対策について確認にはいかれていません。

定例教育委員会議事録をご覧になったとのことですが、定例教育委員会でも毎回不登校の状況については熱心に話し合われていました。対象児童生徒の固有名詞が出てくるので議事録には詳しくのせられないのです。この事も教育委員会に確認していただければすぐに分かることです。

以上のことから赤田議員は第一弾の動画をアップするときに御代田町の不登校対策について調べないままアップし、[不登校対策について具体策すら話し合われていないように見えた]発信されていることが分かりました。

この誤りを正すために私は御代田町の具体策を事実として紹介させていただきました。町民の皆さん、閲覧者の皆さん、御代田町では不登校問題についても丁寧に対応しておりますことをご理解ください。

県認証フリースクール面替っ子を運営されている NAKAMURA 様、投稿ありがとうございます

ざいました。心配いりませんよ。現教育長も不登校や TOCO-TON について一緒に取り組んできたお仲間です。何なりとご相談くださいね。

すでに職を退き、静かに学校や地域のために尽力したいと思っている私としましては、今回の投稿は随分悩みました。私のことはどうでもいいのですが、不登校のことについて力を尽くしてくださっている学校現場、関係者、教育委員会職員さんのことを考えたり不登校について具体策を持たない町だと思われてはいけないのではないかといたたまれない思いで投稿させていただきました。

赤田議員が教育のことを後押ししてくださるのはとてもありがたいことです。今後もその姿勢は大事になさってください。